

方向器

22年4月15日
通算1049号

全日本建設交運一般労働組合
神田支部

〒101-0061千代田区神田三崎町3-2-4
電話 03-6674-2129
ファクス 03-6674-2986
メール kumiai@kanda-web.co.jp



流通センター駅で行動する西原さん（右）

4月1日に、全国トラック部会4・1統一宣伝行動日として、東京モノレール流通センター駅とJR品川駅港南口にて参加者全体で8名が参加し神田支部からも書記局2名と東京CS分会から西原さんが参加しました。当日は4月に入ったのにも関わらず厚手の上着を着るほどの寒さと小雨が振る中で、の宣伝行動でした。

その後、8時から場所は品川駅港南口に変更し宣伝行動を行いました。品川駅は雨もやみ宣伝活動には、うってつけな天候となりましたが、この間新型コロナウイルス感染症などで働き方が変化した結果、企業でテレワーク等が進み例年よりも人手が減ってしまっ

た印象が受けました。最終的に1時間宣伝を行い、伝言板やノベルティグッズを合わせて80セットを配布し、行動を完了しました。【上村委員長】



【工藤執行委員】

建設労大阪府本部と大阪トラック部会と合同で4月3日（日）全体の参加者70名トラックパレードが行われ、神田支部からは小城常任と工藤執行委員が参加しました。「コロナ不況から経済を活性化大幅賃上げ獲得で魅力ある運輸・建設業界を目指そう！」をスローガンに、8時30分から舞洲スポーツアイランド陸駐車場にトラック29台、宣伝カー3台が結集し、決起集会が開かれ、前村実行委員長のあいさつでは、「コロナ不況に加えて、ロシアへの経済制裁が強められる中で、燃料高騰に拍車がかかり、あらゆる物価が軒並み引き上げられる中で闘われる。コロナ不況から経済を活性化させる

には大企業の内部留保を労働者に還元し、大幅賃上げを実現しよう」と決意表明がありました。そして、来賓あいさつに駆けつけて頂いた、大阪労連・菅議長、大阪交運共闘・庭和田事務局長、日本共産党・辰巳孝太郎前参議院議員大阪選挙区予定候補からあいさつがありました。決起集会後にパレードがスタートし、舞洲スポーツアイランド陸駐車場を出発して御堂筋を南下し、敷津交差点までトラックと宣伝カーが隊列しながら行進し、途中の野田阪神駅前では関西支部なんば高島屋前大阪合同支部がトラック運輸業2024年問題のビデオ配信を行うとともに「平和を守れ！ロシアのウクライナ侵略に反対！」コロナ不況から経済を活性化。運輸・建設業の魅力ある職場をめざそう！と宣伝を行いました。小雨の振る肌寒い中でしたが、道中ではトラックに手を振る方もおり、府民に強くアピール出来たトラックパレードでした。【工藤執行委員】



【小城常任】

4月9日～4月10日の1泊2日で、建設労大阪府本部の組織強化・各支部との交流を目的とした学習交流会が京都府・大正池グリーンパークにて開催されました。参加者は全体で38名、神田支部からは小城常任と工藤執行委員が参加しました。大阪府本部としてはじめての学習交流会でしたが、関西支部などから20代・30代の組合員も多く参加し活気のある学習交流会となりました。荻田書記長が司会進行し、第1部学習会では、前村委員長が「全日土建から建設労への変遷の歴史」をテーマに約30分の講義を行い、労働者階級の闘いを始め、地域の様々な民主運動、平和運動で大きな役割を果たしてきたことなど、実例を踏まえ詳しい解説がありました。第2

部学習会では、鷹巣副委員長が「全自連・運輸一般・建交労の歴史」をテーマに約30分の講義を行い、建交労になるまでの歴史的背景や、建交労になってからはエアウオーター闘争・西神戸闘争で職場組合員の解雇をわずか1カ月で撤回、職場復帰させたことなどこれまで勝利した数多くの闘いの歴史を学習しました。また関西支部の藤川書記長からは関西生コンについての補足説明があり、今後も建交労大阪府本部として歴史を次世代へ繋いでいくため団結を強化していきたいと力強い言葉がありました。交流会では、野外にてBBQ、おでん、焼きそば、から揚げなど大西副委員長が中心となつて数日前から準備されたプロ顔負けの手料理がふるまわれ、職場や支部の悩み、意見など学習会では発言しにくい内容についても打ち明けあいごとができて、参加者全員にとつて大変意義のある学習交流会となりました。鷹巣副委員長の最後の締め言葉では「各支部が組織建設・強化を図り今後も大阪府本部をみんなで支えよう」との呼びかけがありました。翌日は朝食後に記念撮影して現地解散しました。【小城常任】

4. 1 全国トラック部会統一宣伝行動 流通センター駅・品川駅港南口

4. 3 大阪 トラックパレード開催

大阪府本部 学習・交流会

手から手へ仲間といっしょに読もう